

科目名称	日本文化論Ⅱ				ビジネス・キャリア	()	オフィス情報	()		
英文科目名称	Japanese CultureⅡ				グローバル・コミュニケーション	()	医療事務・医療秘書	()		
科目コード	532280	授業形態	演習	単位数	2					
教員氏名	田中 利砂子		年次配当	1年次	後期		ホテル・観光	()	大学編入	()
実務経験教員担当	有・ <input checked="" type="radio"/> 無		アクティブラーニング		<input checked="" type="radio"/> 有・無					
授業概要 及び授業方法	日本語能力試験N2レベル以上の教材を用い、大学での勉学に必要な読む力・書く力・話す力を養成するための練習を行う。									
関連する科目	日本文化論Ⅰ				卒業認定(学習成果)との関連	①, ②, ③, ④				
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業の説明、これまでの復習 2. 第6課 全体把握、言語タスク 3. 第6課 認知タスク 4. 第6課 クリティカル・リーディング 5. 第7課 全体把握、言語タスク 6. 第7課 認知タスク 7. 第7課 クリティカル・リーディング 8. 第8課 全体把握、言語タスク 9. 第8課 認知タスク 10. 第8課 クリティカル・リーディング 11. 第9課 全体把握、言語タスク 12. 第9課 認知タスク 13. 第9課 クリティカル・リーディング 14. 第10課 全体把握、言語タスク 15. 第10課 認知タスク 									
授業時間外の 学 習	<p>【予習】「使用教材」の該当課を事前に読んで予習しておくこと。(1時間程度) 意味のわからない単語は辞書等で事前に調べておくこと。(1時間程度) 【復習】毎回復習すること。(2時間程度) 3回おきに小レポートを課す。(2時間程度)</p>									
授 業 の 到 達 目 標	<ol style="list-style-type: none"> ① 文章の内容を筆者の意図に沿って読み取れるようになる。 ② 文章を吟味しながら読めるようになる。 ③ 大学での勉学に必要な表現力を身につける。 ④ 自分の考えをきちんとした形で書ける・話せるようになる。 									
課題に対する フィードバック	小レポートのフィードバックは、授業時に適宜行う。				評価方法・基準	タスク20点 小レポート30点 定期試験50点				
テ キ ス ト	奥田純子監修(2013)『読む力 中上級』くろしお出版									
参 考 書	特になし。									
備 考	※留学生対象の授業である。 ※「日本文化論Ⅰ」の履修を終えていることが本科履修の条件である。									